

Town Topics
まちの話題



チームさのまる



2月22日、佐野市運動公園内の市民体育館で、佐野ブランドキャラクター「さのまる」の3歳をお祝いする「さのまるお誕生日会ー白熱！ゆるキャラ大運動会ー」が開催されました。

この日は、さのまるの誕生日をお祝いするため、北は北海道夕張市、南は高知県須崎市から27のお友だちキャラクターが来てくれました。

ゆるキャラたちは5チームに分かれて運動会を行い、万歩計ダンス、大縄跳び、イス取りゲーム、フットサルなど5種目で競い、優勝は栃木県のキャラクターが集まった「チームさのまる」でした。

会場には約1万5千人が集まり、ゆるキャラたちが愛くるしい姿で練り広げる熱い戦いに、大きな歓声があがりました。

また、体育館の外では各キャラクターのブースや「佐野らーめん」や「いもフライ」が振る舞われ、賑わいを見せました。

全国学びとまちづくりフォーラム in 佐野

3月1日・2日の2日間、文化会館とその周辺で、全国各地の先進的な取り組み事例を集めた生涯学習に関するフォーラム「全国学びとまちづくりフォーラム in 佐野」が開催されました。

初日には、文部科学省の谷合俊一さんと聖徳大学教授の清水英男さんが「これからの社会教育とまちづくりのあり方」をテーマに対談。翌日には、全体会と基調提言が聖徳大学名誉教授の福留強さんにより行われました。どちらの会場にも多くの人が集まり、生涯学習を通じた地域活性化について思いを新たにしました。

また、両日とも分科会や楽習講師による展示・体験・ステージ発表など、さまざまなブースが設けられ、参加者は全国各地での事例を聞いたり、楽習講師の講座を楽しんでいました。

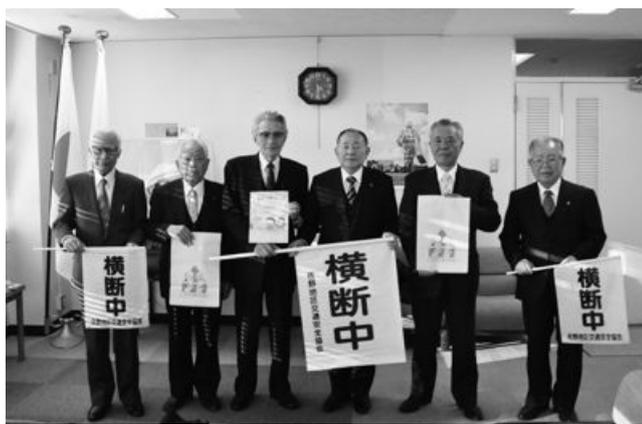
2日間を通してお年寄りからお子さんまでたくさんの方が参加し、それぞれがいろいろなことを学び、実りある時間を過ごしました。



市では「楽習講師」による講座を多数開催しています。

※楽習(ガクシュウ)とは？
「楽しく学習する」という意味の造語です。「楽」は「ラク」という意味ではなく、「本当の楽しさ」という意味を持っています。
生涯学習は個人の自発的意思による自由な活動であり、これを楽しく行うことを佐野市では「楽習」と表現しています。

新1年生へ交通安全の品物を、 ご寄付いただきました



佐野地区交通安全協会の皆さん



佐野ロータリークラブ

佐野地区交通安全協会や佐野ロータリークラブから「新1年生に」と、交通安全の品物をご寄付いただきました。

いただいた品物は、ランドセルカバーや横断旗、また交通安全を呼び掛ける絵本や、ハンカチ、定規、下敷きなどです。

登下校に慣れてない新1年生をはじめ、児童生徒を交通安全から守るため、安全運転にご協力ください。

市民の皆さんの思いがこもった 折鶴で、佐野日大高校を応援



佐野市はスポーツの活力でまちを元気にする「スポーツ立市」を進めています。

この度、佐野日大高校が第86回選抜高校野球大会に出場するのの際し、「スポーツ立市元年の佐野市で、市民の皆さんの手作りの折鶴で応援することで、スポーツで地域を元気にするまちづくりのスタートを切りましょう」と呼びかけたところ、2万3千羽もの鶴が集まりました。

市民の皆さんの思いがこもった鶴は、3月17日の甲子園への出発式の際に、佐野日大高校にお渡ししました。受け取った吉田主将は、多くの鶴に驚くとともに、「すてきなプレゼントをありがとうございます。甲子園では、選抜旗とともに、優勝旗を持ち帰ってきます」と感謝と意気込みを話しました。

からさわやまじょうあと

「唐沢山城跡」が国指定史跡になりました

昨年11月15日付けで、国の文化審議会から文部科学大臣に、唐沢山城跡を国指定史跡として指定するよう答申されていましたが、平成26年3月18日付けで官報に告示され、正式に史跡として指定されました。

【指定理由】

関東有数の大規模な山城であるとともに、織豊系城郭（しょくほうけいじょうかく）として整備された数少ない城。また、山頂部の高石垣や山麓部に営まれた居館跡群が良好に残るとともに、築城から廃城に至るまでの城郭の変遷を窺うことができるなど、中世城館の展開を知る上で重要（関東有数の大規模な中世山城であるとともに、織豊系城郭として整備された数少ない城）。

佐野市・佐野市教育委員会は唐沢山城跡を未来に伝えるための取り組みを今後も継続していきます。

■問合せ 文化財課 ☎(61)1177

